

# うおーみんぐ

NO.20 春

京都府地球温暖化防止  
活動推進センター通信

地球温暖化問題に取り組む人のための通信です。

実践活動への意欲を、アイデアを、仲間同士の関係を、ホットに温めます！

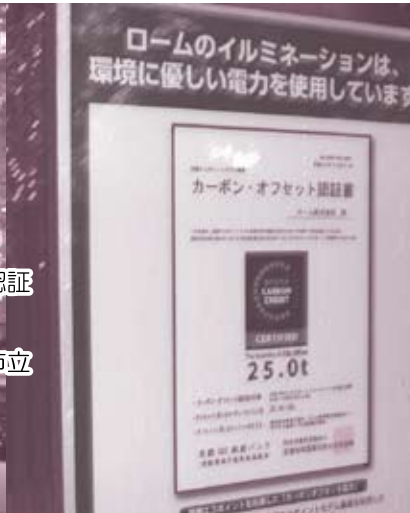


(写真)

右上・右下・左上：京都エコポイントモデル事業によるカーボン・オフセット認証  
(ローム株式会社によるイルミネーション)

左下：ストップ温暖化「一村一品」大作戦 全国大会で最優秀賞に輝いた京都市立  
雲ヶ畑中学校

「くらしの匠」の進める  
地域ぐるみの  
温暖化防止生活



 京都府地球温暖化防止活動推進センター  
Kyoto Center for Climate Actions

## 「くらしの匠」の進める“地域ぐるみの”温暖化防止生活

報告 丹後市民風車フォーラム  
～みんなの風車はできんかえ～

速報 ストップ温暖化「一村一品」大作戦 全国大会  
～今年度の全国大会の結果は！？～

### 活動レポート

展示物が新しくなりました  
寄付をいただきました

京都府地球温暖化防止活動推進センターは、府内の温暖化防止活動を様々な面からサポートし、一層活性化させることを目的に活動するセンターです。平成 15 年 10 月 10 日、府内の多様な団体が連携し新たに立ち上げた NPO 法人 京都地球温暖化防止府民会議が京都府知事からセンターとしての指定を受け、その活動を開始しました。

京都府地球温暖化防止活動推進センターの活動は、国、京都府、府内の多様な団体、会員の皆様などのご支援によって支えられています。

## 特集

### 「くらしの匠」の進める 「地域ぐるみの」温暖化防止生活



京

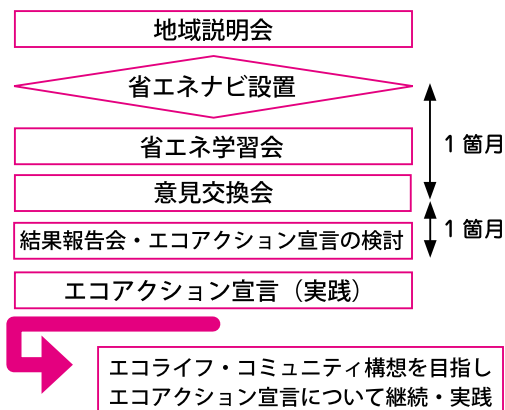
都市では、家庭の省エネと、地域ぐるみの温暖化防止を進めるための新しい取組が始まっています。その名も、「くらしの匠と進める『エコライフ・コミュニティづくり』事業」。この事業の担い手となる「くらしの匠」は、これまでボランティアとして活動に関わってきたメンバーで構成されています。取組について話をうかがいました。（文責：伊東真吾）

山本和仁さん  
（京エコサポーター、  
地球温暖化防止活動推進員）

青谷治さん  
（京エコロジー  
センター事業課長）

天野光雄さん  
（京エコサポーター、  
地球温暖化防止活動推進員）

図1 <事業の進め方>



## 01「くらしの匠」って？



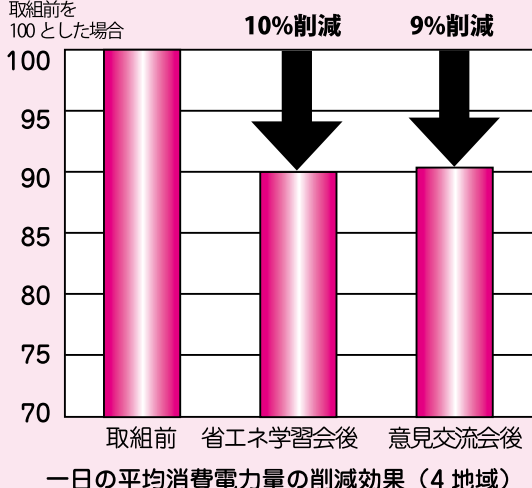
青谷

地域ぐるみで省エネ型の生活や温暖化防止活動に取り組んでもらう地区を育てようとの事業はスタートしました。それには、地域の環境活動をコーディネートする人材が必要です。京エコロジーセンターでは、ボランティア養成講座を受講し、3年間館内外で活動してもらっていますが、3年を経過して希望する人を、地域の環境問題解決に取り組む「京エコサポーター」として登録しています。その方々から募り、今回12人を「くらしの匠」として認定しました。

2008年10月から公募の市内9地域（108世帯）で進めました。（図1）希望する家庭に省エネナビ※1を設置してもらい、消費電力量を測定してもらいます。設置後しばらくは、これまで通りの生活で、1週間ほど経ってから、省エネ学習会を行って、省エネナビとの生活が始まります。

その後、省エネナビに蓄積されたデータを分析しました。平均すると、学習会以前と以後で、およそ10%の消費電力量の削減効果があがっています。ここからがこの事業の真価が問われます。「くらしの匠」と地域の参加者で、省エネやエコライフ、更には地域でのエコな取組の進め方などについてのミーティングを複数回持ちました。単に家庭の省エネの取組を進めることだけでなく、ワークショップ形式で、参加者の思いを引き出し、地域での自立した環境活動につなげられるかが勝負でした。「くらしの匠」なくしては成し遂げられない事業でした。

取組前を  
100とした場合





## 02 どんな地域が参加して、どんな成果が？



### 天野

参加地域のひとつ、藤ノ森小学校 PTA では 11 世帯の家庭がこの事業に参加したところ、電気使用量を 15%も削減できたので我々もびっくりしました。その成果を紹介して PTA 全体にエコライフを普及しようということになり、3 月 7 日に「親子エコ教室」を開催、来られた 35 家族を対象に、参加家庭の方が省エネの取組体験談を報告されました。これがとても楽しく工夫されていておもしろかったです。

事業に参加された家庭からは「子どもがすごく関心が高く協力的で、最初は非協力的だったお父さんも最後には協力してくれるようになった」「ガスの省エネにも取り組みたい」などの声が聞かれました。



### 山本

参加地域によっては、最初は義務感で来られていたり、批判的な発言をされる方もおられたのですが、ミーティングを重ねていくにつれてうち解け、当初批判的だった方が、地域グループの取組や議論の流れをリードすることもありました。自分たちの力で何かをやってやろうという気運を作り出すことがうまくできたと思います。



### 青谷

「くらしの匠」が、参加地域の方々と同じくらいの世代構成であったことがとても良かったと思います。同じ目線と人生経験から、省エネや活動のアドバイスができたことが、この事業の成果につながったと考えています。

## 03 これから？



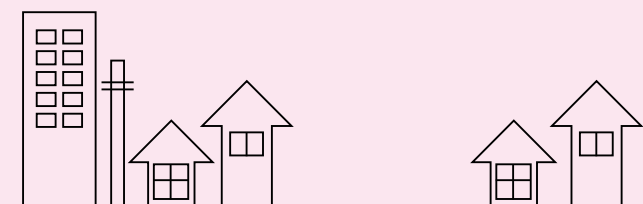
### 山本

来年度以降、増加する予定の参加地域に対応できるよう、新たに「くらしの匠」を養成するプログラムが必要になってくると思います。そのためにも、まずは、地域ごとに分かれて活動していた今年度の「くらしの匠」同士がお互いの成果や課題を振り返って共有することから始めたいと考えています。



### 天野

省エネについては我々もこれまでの経験から、具体的なアドバイスができるのですが、今後、地域の活動提案については、みどりのカーテンや、ごみ減量など、いろんな活動ノウハウをもっている「くらしの匠」を増やしていきたいですね。



## 行政担当者（京都市地球温暖化対策室・南秀明さん）のコメント

京都市では、「温暖化防止に取り組みたいけど何をしたらいいかわからない」、「一人では長続きしない」といったことで一歩踏み出せずにいる皆さんが、隣近所などで気心の知れた方々と一緒になって、楽しくエコに取り組み、「エコ町内会」といった地域ぐるみでエコ化を目指す「くらしの匠と進めるエコラ

イフ・コミュニティづくり」事業を平成 21 年度も実施することにしています。

この事業の一番のおすすめな点は、確実に温暖化防止に効果があると自信をもって言えることです。次年度の取組地域をお待ちしておりますので、御連絡ください。

※ 1 省エネナビ：現在の電力の消費量を金額で知らせると共に、利用者自身が決めた省エネ目標を超えるとお知らせし、利用者自身がどのように省エネをするのか判断させる機器。設置には配線工事が必要。

※ 2 ワットチェッカー：コンセントと家電製品の間に繋がると、家電製品の積算消費電力量・その時点の消費電力などを表示する器具。温暖化防止センターで貸出し可能です。



ワットチェッカー



省エネナビ

## 報告

# 丹後市民風車フォーラム ～みんなの風車はできんかえ～

キーワードは

「地域資源を活かした地域活性化」  
「情報の公開とオープンな議論」

なんと 140 人が参加！



2月11日、京丹後市大宮町において、「丹後市民風車フォーラム～みんなの風車はできんかえ～」（主催：自然エネルギー市民の会 共催：エコネット丹後・宮津市エコネットワーク 後援：京都府地球温暖化防止活動推進センター）が開催され、みんなの風車＝市民風車について多くの人による情報共有・意見交換が行われました。そこで、丹後での市民風車づくりに向けた動きについて簡単に紹介します。

**今**回のフォーラムは、これまで丹後地域で進められてきた風況調査、環境影響評価など、市民風車づくりに向けた調査研究結果を多くの人に伝え、今後の動き方について意見交換を行うことを目的に開催されました。

**市**民風車とは、市民がお金を出し合って建設し、売電による収入は出資した市民に分配する風力発電機のこと。風力発電の先進国であるドイツやデンマークでは多数見られ、日本でも、東北や北海道を中心にすでに10機の市民風車が建てられています。

**特**に、青森に建設されている市民風車「わんず」の事例は、市民風車を地域活性化につなげた事例として注目を集めています。（詳しくは「グリーンエネルギー青森」のサイト <http://www.ge-aomori.or.jp/>）

「**京**都にもそんな市民風車を建てられないか」と、平成17年から継続的に調査が進められてきました。特に今年度実施の環境影響調査は、丹後地域の植物・動物の専門家、親子連れなどが一緒に現地調査を行うなど市民参加で実施されており、市民風車づくりの新しい形に挑戦する先進的な試みになりました。

**フ**ォーラムでは、市民風車と地域活性化をテーマにした基調報告および環境影響評価の中間とりまとめ結果報告を元にパネルディスカッションが行われました。パネリストからは、「風だけに限定せず木など様々な地域資源に目を向け、それを活用することで地域を元気にするという発想が必要で、市民風車はその皮切りになりうる」といった発言が相次ぎました。

**採**算が取れるのか、風向きが頻繁に変わる丹後の状況に風車に対応できるのかなどの課題があり、本格的検討はまだこれからという状況ですが、パネルディスカッションにおける野木武氏（エコネット丹後理事長）の「ドイツでは、駐車場建設と1本の木の保全について3年も時間をついやし、多くの人が議論してこれを両立させたという事例を聞いたことがある。情報を共有し、みんなで議論することが何より重要」という発言の通りオープンな議論が必要で、このフォーラムは、そのきっかけを提供するという重要な役割を果たしたものと思われます。

**ぜ**ひ今後の検討内容に注目し、検討にご参加ください。

フォーラムのプログラム、写真等はこちらで紹介されています。ぜひご覧ください。

「自然エネルギー市民の会」のサイト  
<http://www.parep.org/log/project/wind/eid215.html>

## 丹後市民風車づくりに 向けた検討の流れ

- 平成17～18年度  
京都府から委託を受けた当センターが事務局を務め、実施可能性・実施体制・設置場所等について調査。通称一寸法師山を候補地に選定。
- 平成18年秋～平成20年春  
自然エネルギー市民の会、気候ネットワーク、当センターの3者共同で風況精査を実施。風力発電を実施可能な風があることを確認。
- 平成20年春～  
自然エネルギー市民の会とエコネット丹後が中心となり、気候ネットワークや当センターも協力する形で市民参加型環境影響評価を実施。



## ストップ温暖化『一村一品』大作戦 全国大会 ～今年度の全国大会の結果は！？～



環境大臣による表彰

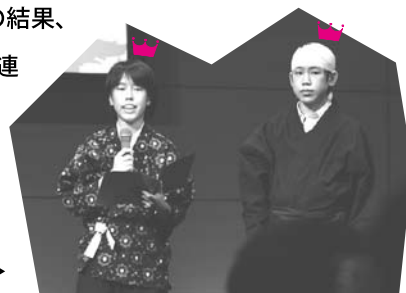
### なんと、京都府代表の京都市立 雲ヶ畑中学校が最優秀賞に！！

平成 21 年 2 月 14・15 日に、東京で「ストップ温暖化『一村一品』大作戦 全国大会」が開催されました。この大会には、都道府県ごとの選考会で選出された 47 団体が出場。1 団体当たり 4 分という短い時間にぎゅっと凝縮したプレゼンテーションを行なって取組の特徴を紹介しました。

京都代表として全国大会に出場したのは、京都選考会である「きょうと ECO-1 グランプリ 2008」でグランプリに輝い

た雲ヶ畑中学校。舞台上での薪割りの実演、堂々としたプレゼンテーション、一緒に活動する山仕事サークル『杉良太郎（すぎよし）たろう』メンバーの応援演説などで取組内容を存分に PR。選考の結果、

見事「最優秀賞」に輝きました。昨年の北桑田高校森林リサーチ科に続き、2 年連続京都府代表の最優秀賞受賞です。雲ヶ畑中学校の皆様、関係者の皆様おめでとうございます。そして、きょうと ECO-1 グランプリ 2008 決勝大会に参加し雲ヶ畑中学校を全国大会に送り出してくださった皆様、ありがとうございました。



熱のこもったプレゼン→

さかなクンと記念撮影



薪、割れた！



#### <全国選考結果>

##### 👑最優秀賞

京都府代表 京都市立雲ヶ畑中学校 「二酸化炭素 8割減らす まき暖房」  
取組名：地域の自然エネルギーを活用しよう（灯油利用ゼロで暖房費ゼロ）

##### 👑金賞

新潟県代表 雪国住宅研究会 「雪で冷房、“気持ちイイ”暮らし」  
取組名：雪室をビルトイン、冬の雪で夏に冷房する家

##### 👑銀賞

高知県代表 農事組合法人高知バイオマスファーム  
「維新ぜよ！新（森）農業の風が吹く」  
取組名：高知・農家発～木質ペレットを燃料とする低炭素農業の実践

##### 👑銅賞

沖縄県代表 沖縄県立宮古総合実業高等学校環境班  
「そばとサトウキビのグーな環境でいこう！」  
取組名：サンゴの島の「日本そば」プロジェクト

##### 👑特別賞 7 団体

##### 👑審査員特別賞 11 団体

受賞団体一覧及び各団体の取組内容はこちらをご覧ください <http://www.jccca.org/daisakusen/>



# 活動レポート

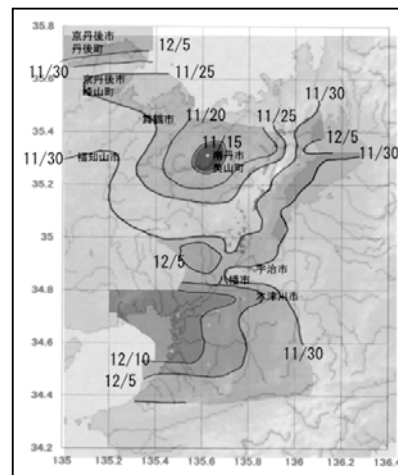
京都府地球温暖化防止活動推進センターの主な活動を報告します

## カエデ調査の結果について

1

今年度の新しい試みとしてカエデ紅葉日調査を昨年 11 月下旬から 12 月上旬にかけて実施しました。調査には、京都府地球温暖化防止活動推進員の他に、龍谷大学の大学生を含む一般の方に協力いただきました。寄せられた 177 カ所のデータを龍谷大学増田教授に分析していただき、京都府内のカエデ紅葉分布図が完成しました。調査結果としては、2008 年秋の京都市内のカエデ紅葉日は京都市内の早い地点では 11 月 30 日頃で、京都市内のほとんどが 12 月 5 日前後だと判定しました。今回もカエデの紅葉が 1980 年代に比べると遅かったといえます。京都府全体と比べると京都市内のカエデ紅葉は遅い方で、京都府のカエデ紅葉は美山町から始まり、京都市内へと移っていくこと、京都府内の 11 月の最低気温平均図等から、カエデの紅葉と気温の間に強い相関があることを確認しました。

近畿地方のカエデの紅葉日（2008 年）



京都府内カエデ紅葉日調査 2008  
京都府地球温暖化防止活動推進センター  
龍谷大学経済学部 増田啓子教授 共同調査

京都市内のカエデ紅葉日の推移  
1980 年代 11 月 23 日  
それ以降 12 月 3 日

2008 年結果  
11 月 30 日～12 月 5 日

## 平成 20 年度親子温暖化教室について

2

今年度は、府内各地の推進員さんと協力して実施する「親子温暖化教室」を 29 箇所で行いました。その中でも、南丹保健所と協力して南丹市内の小学校 10 校で授業を実施しました。子どもたちに分かりやすく伝えるために、京丹波町の推進員さんがクイズ用のイラストを作ったり、エコバックの説明用に手作りの手提げ袋を紹介されるなどの工夫を行ないました。

来年度に向けては、企業・行政・推進員が協力して出前教室を実施するモデルの提案や、学校での出前授業におけるマニュアルづくりなどの試みを予定しています。



## 京都エコポイントモデル事業の結果について

3

京都エコポイントモデル事業には、2 月末時点で 1,282 の省エネ参加家庭、118 の太陽エネルギー設備設置家庭がありました。省エネ参加家庭からは、2008 年 12 月末時点で 29.3 トンの CO<sub>2</sub> 削減クレジットが発生し、すでにいくつかの企業のイベントなどでカーボン・オフセットされています。新年度も募集を行う予定です。

2009.01.30/02.22

**省エネルギーフォームセミナーを開催し、冊子を作成しました**

1月30日(土)に消費者向け省エネルギーフォームセミナー第2回として、「すっきり解決! 省エネルギーフォーム基礎情報」を、2月22日(日)に、第3回「省エネの視点を盛り込んだリフォーム事例大集合!」を開催しました。第3回では、メーカー、建築士、工務店、施主など様々な立場の方々から工夫を凝らした7つの省エネルギーフォーム事例が報告されました。この内容は、冊子「エコリフォームのススメ」にまとめてあります。冊子はWebサイトからもご覧いただけますのでぜひご活用ください。



リフォームセミナーでの報告会

2009.02.07/08

**第4回推進員研修会を実施しました**

2月7日(土)・2月8日(日)に今年度最後の全体推進員研修を実施しました。北部会場では、元立命館大学教授和田武先生を迎えて、「自然エネルギー普及と市民の役割」というタイトルでお話を伺いました。温暖化による気温上昇を2℃未満に抑えるためには、日本のエネルギー政策を現在の化石燃料や原子力発電に頼ったものから、自然エネルギー主体へとシフトしていく必要があること、シフトを実現させるためには市民主導の取組も不可欠であることを、デンマークやドイツの市民共同発電所の事例から学びました。南部会場では「地元の木を使おう」をテーマに、「京都・森と住まい百年の会」代表理事の田村宏明さんに講演していただきました。田村さんは建築家として家造りに関わっておられるなか、日本の森林政策の問題点などについてお話いただきました。



振り返りワークショップの様子

2009.02.17/18/19

**ガス事業者省エネ研修会と「省エネマイスター」講習会を実施しました**

2月19日(木)に、京都府条例で定められた家電店を対象とする「省エネマイスター」の講習会を実施し、80名の方が、最新の省エネ家電の動向や、5月に予定されている省エネラベルの基準改定、太陽光発電の情報に耳を傾けました。また、2月17日(火)18日(水)には、府内のガス事業者を対象とした「ガス事業者省エネ研修会」を行ない、47名の方が、温暖化防止の側面からみたオール電化とガスの比較や、プロパンガス事業者である森下正さん(推進員)による環境経営についての講義を受講されました。

**京都の木の家見学会を開催しました!**

昨年秋から開催していた京都府産認証木材を使った住宅見学会、府内4ヶ所(延べ7日間)で約370名もの方にご来場いただきました。たくさんのご来場、ありがとうございました。京都の木の家、府内各地でどんどん増えてます(20年度は約180棟)! 今後も住宅見学会情報を当センターのブログ「活動絵日記」などで発信していきますので、コマメにチェックしてください。

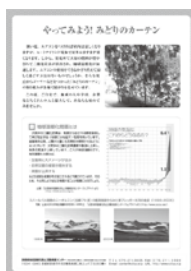


城陽市での開催の様子

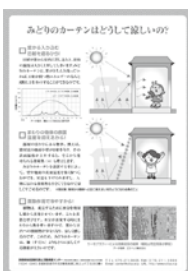
## 展示物が新しくなりました

以下の展示物が新しくなりました

### ✓ みどりのカーテンパネル (A1 サイズ 5 枚セット)



やってみよう!  
みどりのカーテン



みどりのカーテンは  
どうして涼しいの?



みどりのカーテン  
育て方講座



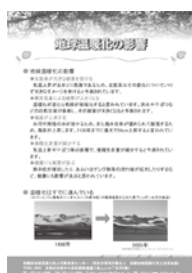
みどりのカーテン  
実践例



みどりのカーテン  
実践例

みどりのカーテンの育て方の詳細や府内各地の実践例を盛り込みました。

### ✓ 温暖化啓発パネル (A1 サイズ 8 枚セット)



温暖化啓発パネル 8 枚セットのうち 3 枚の情報を新しくしました。

- (1) 地球温暖化問題とは **NEW!**
- (2) 地球温暖化の影響 **NEW!**
- (3) 先進国の対策が重要
- (4) 日本の二酸化炭素排出の現状 **NEW!**
- (5) <対策> 家庭での取り組み 1
- (6) <対策> 自然エネルギー普及
- (7) <対策> 交通分野での取り組み
- (8) <対策> 事業活動での取り組み

### ✓ 掛け軸型展示 / 省エネリフォーム

省エネリフォームについて紹介した掛け軸型展示 21 枚のうち、次の 15 枚を布生地で作成しました。

- (1) 家のつくりやうは冬もむねとすべし!
- (2) 交通事故より身近に潜む=ヒートショック
- (3) 窓を制するものは省エネを制す
- (4) 素材と枚数で決まる断熱性サッシとガラスの名コンビは?
- (5) 窓を変える 3 つの方法リフォーム編
- (6) 今すぐできる省エネ大作戦 窓の省エネ効果を高めるお手軽な方法は?
- (7) 今すぐできる省エネ大作戦 「すだれ」と「みどりのカーテン」で夏も太陽光と仲良くおつきあい
- (8) 断熱=省エネ+快適!
- (9) 省エネルギーのポイントは遮熱と日射遮蔽
- (10) 断熱材いろいろ!
- (11) 今すぐできる省エネ作戦 断熱マットを敷いてみよう
- (12) 今すぐできる省エネ作戦 足元を暖かくして暖房を快適に
- (13) 屋根・天井、壁、床もリフォームで断熱可能!
- (14) 断熱材の効果を実験で確かめてみよう!!
- (15) おひさまの力を活用しよう

下記の団体様よりご寄付をいただきました

京都信用金庫

アース不動産販売

## 京都府地球温暖化防止活動推進センター通信「うぉーみんぐ」

(平成 21 年春号 平成 21 年 3 月発行 (年 4 回発行))

発行: 京都府地球温暖化防止活動推進センター

(特定非営利活動法人 京都地球温暖化防止府民会議)

理事長: 郡嶋 孝 運営委員長: 浅岡 美恵

〒604-0965 京都市中京区柳馬場通二条上る六丁目 283 番 4

TEL: 075-211-8895 FAX: 075-211-8896

URL: <http://www.kcfca.or.jp> E-mail: [center@kcfca.or.jp](mailto:center@kcfca.or.jp)

編集: 伊東 真吾 川手 光春 木原 浩貴 西澤 浩美 洲上 佑樹 吉川 春菜  
竹花 由紀子

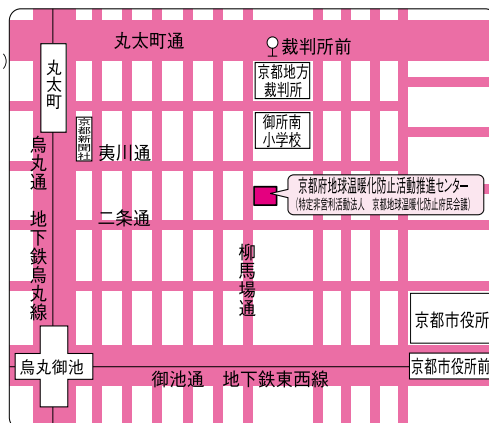
法人の活動を支えてくださる会員を募集しています!

年会費 正会員 (個人): 2,000 円 正会員 (団体): 3,000 円

準会員 (個人): 2,000 円 準会員 (団体): 3,000 円

賛助会員: 10,000 円 (会費は平成 20 年度からの金額)

詳しくは事務局までお問い合わせ下さい。



この印刷物は、古紙配合率 100% の再生紙に、大豆インキで、風力発電による自然エネルギーを使って印刷しています。

